ノースアジア大学

改善報告書

令和８年７月２９日

１．大学名：ノースアジア大学

２．認証評価実施年度：令和５年度

３．「改善を要する点」の内容

基準項目：２－１

〇法学部法律学科及び国際学科の収容定員充足率が 0.7 倍未満であるため、引き続き定員充足に向けた一層の改善が必要である。

４．改善状況及び結果

基準項目２－１について

《改善状況：制度面》

法学部の持つ授業の難易度が高いイメージ、公務員といった特定の業種・職種につながるイメージを払拭し、本学法学部が以前から持っている多様な分野を幅広く学べるという強みに気付いてもらうため、またこれからの時代に求められる様々な学問をつなぎ合わせた問題解決能力を持った人材を育成するため、令和 6 年度新入生から学部の名称を総合政策学部へと変更した。名称変更初年度である令和 6 年度は、総合政策学部の名称が受験生に浸透せず、入学定員充足率 35%と苦戦を強いられた。しかし、次年度は入学定員充足率 51%と 16%増となった。**【資料１】**

また、令和 4 年度入学生から総合政策学部全体の入学定員を 160 名から 110 名へと見直しを行ったが、秋田県の高校卒業者数の減少には歯止めがかからず、令和 4 年 3 月に 7,143 名であった高校卒業者が、令和 7 年 3 月には 6,765 名と 3 年間で 378 名の減少となった。**【資料２】**　そのため、今後のさらなる秋田県内高校卒業者数の減少を見据え、令和 8 年度入学生から総合政策学部全体の入学定員を 70 名と見直し(経済学部も 95 名から 70 名へ変更)、入学定員充足率を、受審年度である令和 5 年度の 44%から 37%増の 81%にすることができた。**【資料１】**

なお、総合政策学部では、明確な目標をまだ見つけていない受験生にも訴求するために、令和 6 年度の名称変更時から学部一括募集を行い**【資料３】**、学科及びコースの選択は 2 年次からとしている。これにより、1 年間じっくりと自分の進みたい方向性を見出すための勉強ができる環境が整った。さらに、学生の勉学に向かうモチベーションアップのため、W メジャー制を取り入れ、学部全体で設置した 7 つのコースのうち 2 つを同時に履修･修了する制度も取り入れた。これにより、21 通りのコース選択が可能となり、学生の将来の選択肢を増やすことにつながっている。**【資料４】**

《改善状況：授業・学生支援》

令和８年度新入生アンケートによると、本学を受験する際に影響が大きかった人は高校の担任が 29%、父母・家族が 21%、先輩・友人が 16%、そして高校の進路指導の先生が 9%であった。実に高校生の 75%が身近な人からのアドバイス(口コミ)で受験を決めている。**【資料５】**　本学への入学生は以前からこのような傾向が強いため、学生生活のメインである授業に係る満足度・話題性・注目度向上を目指し、令和 4 年度から外務省現役職員（授業科目「国際関係論特別講義」）を、令和 5 年度からは読売新聞編集委員の橋本五郎氏（授業科目「現代政治論」）を招聘し、第一線で活躍している方々からの講義を行っている。**【資料６】**　また、実践型の授業では、学生が運営する本物の会社「株式会社さくら」の運営を内容とする「企業法務演習」で令和 6 年度に東京の監査法人を訪問したり、古物商許可証を取得したりしながら即戦力人材を養成するとともに、それを外部に広報するための取り組みを行っている。**【資料７】**　令和 7 年度(令和 8 年 3 月)の卒業生アンケートをみても、大学全体のデータではあるが授業に対する満足度は非常に高いものになっている。**【資料８】**

就職についても、朝日新聞出版社「AERA MOOK 就職力で選ぶ大学」で令和 7 年 3 月卒業生が法学部のランキングで 1 位に返り咲くなど、実績を残した。**【資料９】**

このように、制度面および口コミにつながる授業・学生支援の改善（キャリアセンター・国家試験等センターでの継続支援含む）により、受審年度である令和 5 年度と比較し、令和８年度は入学定員充足率を 81%へ(令和 5 年度は 44%)、収容定員充足率を 49%(令和 5 年度は 43%)とすることができたと考えている。**【資料１】**

５．エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目２－１の資料

- **【資料１】**学部・学科別在籍者数（令和 8 年 5 月 1 日現在）
- **【資料２】**令和 4 年 3 月・令和 7 年 3 月_秋田県高等学校卒業者の進路状況調査
- **【資料３】**令和 5 年度・令和 6 年度_入学者選抜要項
- **【資料４】**令和 6 年度_新入生用大学案内（総合政策学部紹介）
- **【資料５】**令和 8 年度_新入生アンケート集計結果
- **【資料６】**外務省現役職員・橋本五郎教授ホームページ紹介記事
- **【資料７】**令和 9 年度_新入生用大学案内（株式会社さくら紹介）
- **【資料８】**令和 7 年度_大学生活満足度調査
- **【資料９】**朝日新聞出版社「AERA MOOK 就職力で選ぶ大学 2026」